と強調。他方

が決めることができる」と

には「個々人の人生は各人

ていることを指摘。「個人」

現行憲法にある「個人」と

いう表現を「人」と変更し

国憲法改正草案」において、

年に公表した「日本

いう意味が込められている

る

「奉納相撲」 「神楽教育」

> と個人にとって重要である と説き、基本的人権が集団 集団にとっても必要である

してなされて

る知人の例を引

(多様性) を守ることが

僧侶であ

も招くとして、 性の弱体化は、 であると指摘。

個人の尊厳

「伝統」と

「憲法施行から8年

誉教授の

小林節氏が基調発

自民党が20

之 **空** 

ターにパネルデ をコーディネー 後、本山委員長

憲により、

憲法が権力を縛

る「立憲主義」を弱めたと

ィスカッション

の自発性・多様性の弱体化

個人の多様 集団の衰弱

これ自体が「個々・

はじめに慶應義塾大学名

題点から政教分離、基本的人権まで、幅広い視点から討議が展開された。

い、基調講演と発題を通し、自由民主党の「日本国憲法改正草案」の問

『個人の尊厳』と信教の自由」のテー

ーマに沿

らない」と語った。

相互理解を図らなければな

事実」と述べ、

「宗教間の

れに対し「疑念があるのは

参照)の範囲内」と理解.

いると説明。

他方で、そ

でなく、

年)以来、

セレニティホールで「第4回現代社会と信教の自由公開講座」を開催し

(信教委、本山一博委員長)は10月29日午後1時半から、東京・杉並の 新日本宗教団体連合会(新宗連、保積秀胤理事長)信教の自由委員会

憲法問題や基本的人権まで

視点から討議

とを示唆した。

また国家や

礼に参加することは、 地方公共団体が神道的な儀

62地区での開催となった。

「『目的効果基準』(『栞』

新宗連

第

4

回

現代社会と信教の自由公開講

스스

この

協議会(1)

宮崎県協議会(11

会は10月25日以降、

する。

### 後の動きを注視

拡大宗教法人研究会開

や、実務的 る木村氏

イナンバ

マイナンバ

-の収集対



団、職員、信者が無決まっている中で、 旨を述べた。 う、しっかり対応を学ばせラブルに巻き込まれないよ いただきたい」 信者が無用なト

実務的対応では、 対象事

らとアド

宗教連盟監事の木村匡成氏 公認会計士で税理士、 会」を開催した。講師に、 会館で「マ の実務と対応」をテーマに、 ら、東京・代々木の新宗連 は11月10日午後1時半か 「第77回拡大宗教法人研究 (宗法研、平松千明座長)

ると思うが、すでに実施が<br />
座長は「制度への賛否はあ 開会にあたり、 各ご教

げられている」 最低限の対応か と語った。

説明 えい対策のための仕組みを な狙いであると指摘した。 の3点を挙げたが、 は含まれていない 算の中には、 保険料等の徴収確保が大き (の罰金による対応) に投 また、懸念される情報漏 「政府の今年度予 いない。民間

人以下の場合につ 特に

の記載の仕方、 とアドバイスした。 ・破棄の方法など、具体的 講演後には、 資料の保管 通知書類等





行われたでの学習会で、参加者 「信仰の継承」がテ





A 5 判

上製函装

定価 3

00円 (税込み)

**解 脱 会** 〒160-0007 東京都新宿区荒木町 4 番地

Tel 03-3353-2191(代表) Fax 03-3353-3055

脱金剛

全3巻

に教えを説き、救済活動を展開し、遷化されるまでの歩みを記す。 るまでの事績を辿る。第3巻=戦時下の厳しい時代の中で縦横無尽きるための学びの土台となる書。第1巻=生誕から事業の失敗、大格に触れて自らの内に深い帰依心を培い、世のため人のために生きるための世界に目覚めていく前半生を描く。第2巻=昭和4人格に触れて自らの内に深い帰依心を培い、世のため人のために大人格に触れて自らの内に深い帰依心を培い、世のため人のために入略に強力を設めている。会祖亡き後、その野聖憲)の生涯を全1549頁、3巻に収めた。会祖亡き後、その野聖憲)の生涯を全1549頁、3巻に収めた。会祖亡き後、その野聖憲)の生涯を全1549頁、3巻に収めた。会祖亡き後、その野聖憲)の生涯を全に、大の政治の世界にない。

解脱会伝記編纂委員会編

コンパクトに解説した、実務家・宗教関係者必携の一冊。宗教法人と税務調査についての基礎知識を中心に整理し、

〒101-0047

平成25年からの新

## 制度の実務と対応」をテー マ

串料を公金から支払うこと

究所副所長の藤丸智雄氏が

浄土真宗総合研

自体、神社神道の考え方と信教の自由」というテーマ

習会が、

今月末で一旦終了

の後、

後、同総支部及び、新日田澤清喜会長のあいさつ

史

をテーマとする平和学

宗法研

ママ

イナン

公式参拝や、県知事らが玉

いて靖国神社

と指摘した。

は「習俗」足りえていない 党が想定している「習俗」 じない習慣」と述べ、自民

の安寧を祈願するものと説

『個人の尊厳』と

た「新宗連活動の原点と歴

が開かれた。

准教授の松本久史氏が発

神社祭祀は共同体全体

支部、協議会で見る。

者慰霊並びに平和祈願式典

信仰

継承」学ぶ

ーフェクト

学習会の

体験発表通して

解決してきたことを話

首都圏総支部総会

信

(8・14式典)」の報告会

連主催の第50回「戦争犠牲 者墓苑で開催された、新宗

國學院大學神道文化学部

て、自民党は「社会的儀礼」 いとしている部分につ

新宗連宗教法人研究会 イナンバー制度 の効率化、 制度の目的を紐解き、 いるようだ」として、税・ ・公正な社会に力が入って 公平・公正な社会実現 国民の利便性党 公平

一語った。 なもの。 対応し改正されていくこと が前提なので、 を注視してほしい」などと した制度」 さまざまな課題に 「試運転のよう

に分類される従業員100 の対応を心がけてほしい」記録をつけるなど「最低限 に説明。取扱担当者を決め、 「中小規模事業者」

安全管理措置の考え方など を解説した。 の説明、基本方針 象者等の確認、 利用範囲の拡大を目指 、針の立て方、収集方法等

会長)

は 10 月

午後2時からの総務

支部総会」を開催した。ザで「平成27年度首都圏総 京都中野区の中野サン 首都圏総支部(正井 会の 東介 苦しんだ経験を述べ、「なんは、自身の家庭環境から んは、 を「信仰の継承」 仰体験の発表があった。 立正佼成会の石田晃子さ

信仰を継承して

ぜ大人の都合に巻き込まれ と声をかけられ、先祖ていただきましょう」 ら「先祖供養からさせた。その時、支部長か 憤っていた過去を語っ ればならないのか」と と語り、 くことの重要性を話した。

会)を訪問、研修を行った。 区のニコライ堂(日本正教 ー(イスラーム)と千代田 ミイ・トルコ文化センタ 14日は渋谷区の東京ジャ



清文社

石村耕治 編

A5判3780円

公 益 財 団 法 人 日 本 宗 教 連 盟 推 薦

http://www.skattsei.co.jp 〈価格稅込

千代田区内神田1-6-6

税務調査対応ハンドブック宗教法人の

[宗教法人税制と法制の解説を含めて]

「子や孫が、信仰の有り難は強いと感じた」と述べ、で「信仰を持っていること を受けたことに触れ、不安た。また、自身が先日手術 さを感じ、成長していけば」 受けることで日々の問題を と自らに問いかけるきっか なく手術を受けられたこと 子さんは、教会長の指導を 教団 (PL) の蒲田真知 リバティ (20条、89条) に違反するか否かを争う裁判 憲法の「政教分離原則」 で、司法が採用する審査基準。三重県津市が行った市立体育館建設時の 公費を支出したことが政教分離違反と訴えた「津地鎮祭訴訟」の最高裁判決で初 めて示された(1977年)。その行為の目的が宗教的な意義を持ち、その効果が特定の宗教に対する援助、助長、促進または圧迫、干渉等と認められる場合は「違憲」と判断するもの。 津地鎮祭訴訟の最高裁判決以降、政教分離裁判で重要な判断基準となっている。(1面)

芸術生活社【芸生文庫】 神宮式年遷宮の歴史と祭儀 造営・神宝の諸領域に分け、その現状と 典籍・記録類は夥しく、しかも貴重な 「これ」と、これも貴重な

御木徳近著

老春讴歌 高齢期を快く生きるための"人生の道しるべ"

で表現である。 ■ 15 「一人生経験、多くの人との出会いかう、5~ 「人を提唱する。 ■ 15 「一人を提唱する。 15 「一人を表現する。 15 「一、またる。 15 「 長生きの秘訣

電話03-3469-1153 FAX03-3465-686

c課題を概観。平成十年(大明堂刊)の復刊。 五二五〇円ものである。本書では、神宮式年遷宮を総説・歴史・祭儀・の結晶)の奥深さがあろう。殊に神宮文庫に所蔵されるの集積は、千三百年にわたる式年遷宮の歴史と伝統に相 中西正幸

神宮祭祀の研究中西日華(国際院会会会)

国書刊行会 TEL 03-5970-7421 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15 http://www.kokusho.co.jp(税込価)

●推薦 清水康市(NPO東海事業支援機構理事長) 友を救 ノウハウの一端が楽しく記載されています。持ってはくれません。決断と再生の時です。中小企業金融円滑化法は失効目前。銀行は、 う

奇想天外なタッチで描いた愉快な実用小説著者自らが関わった借金脱出の実話を元に 太田哲二著

再も 生う アートアンドブレーン 1900円+税 〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-8-22 電話03(5327)3766 お求めは、著者へ直接も可 090-9248-0845 携 帯 FAX PCメール info@ota-tetuji.jp

ひろさちやの『法華経』シリーズ!

ひろさちや ◎四六判上製 ◎定価1944円 当代きっての仏教解説者による『法華経』全28品の現代語訳。平易に親しんで読み進められるように、煩雑な逐語訳でもない、原義を損るる超訳でもない、斬新な翻訳スタイルで綴る。巻末に用語解説を収録。

佼成出版社

〈法華経〉の世界 伝統的解釈にとらわれず、『法華経』 を虚心坦懐に読むための案内書。

東京都杉並区和田2-7-1〈定価税込〉 **25**03(5385)2323 FAX03(5385)2334 http://www.kosei-shuppan.co.jp/

どもたち できな

三上章道

752 価格税込

「原点と歴史」 1月15日、徳島市)、25日以降、徳島県 学習 会を行った。 としてきた「『信教の自 また四国総支部

学 習 里

盲

7

局長を講師に開かれ、全国 田匡男新宗連総 を作成、刊行し、今後の キストを基にリ の5地区の学習で用い 武藤亮飛新宗連事務局 日、鳴門市) 講師に開催。来年以降 由とは何か」 をテーマ 信教 ッた、員にの月 トテ先を、自12

をうれしそうに話して

きて、その日の出来事

体調の変化を見逃さな

思えば小さな頃は、

これがなかなか難し

い。自分の都合を捨て、

努力

しました。けれど、

手の顔を見て話すよう

ているからです。

それからは、

必ず相

に言えない思いを抱え

いよう、危険がないよ

心の中にいつも人のた

ん、うん。そう。よかくれました。私は「う

つめていました。とこう、いつも子どもを見

ぐ私のところにやって

る日学校から帰るとす

娘が小学生の頃。

あ

た。もしかすると、話れません。でも私の心を人は満足したかもしてかもしたがもして、

「8・14式典」に参列した青年 一学習会などで活用され る。平和 語

り、学びをます。こらが感想をそれぞれの言葉で語らが感想をそれぞれの言葉で語

宗連活動の原点と歴史だけ この中で5地区では、新

した。けれどて聞いていま

弱さ」の制御に思う

めの場所を用意しておいなくてはならないからです。人間の本質が利己と利他が同居する「弱になら、その本質 さ」なら、その本質 さ」なら、その本質 さ」なら、そ

まなざし一つに宗教の本質

ったね」と相槌を打っ

ろが話ができるように

実際は締め切

新宗連結成(19 最重要課題

背中を向けたまま、返

もう娘はいませんでし

見る必要があるのは、「本当に子どもの顔を

す。ふと気がつくと、

いました。ある本にる時間が少なくなって

振り向きもせず、娘にを執筆中で、うわの空。

ると思いこみ、顔を見 で判断し、言えば分か なるにつれ、言葉だけ

です。

白馬社

究所所長の島薗進氏が発

安倍晋三首相が解釈改

上智大学グリーフケア研

新宗連奥羽総支部

の感想や学びを共有 拡大総務会で青年らが報告

<sup>1</sup>8.

と語り、

「自分から思いや

その他にも、

想的な場であると感じた」ローガンが凝縮された「理

なった部屋で思いまし

言葉とは裏腹の、言う てから」とありました。

っただろう?

一人に

娘はどんな気持ちだ

話ができるようになっ

協力の和を広げていきた りの気持ちを持って、宗教

別の青年は式典中、豪雨

とや、

を開催した。今回は通常の ら、岩手県盛岡市の立正佼長)は11月7日午後1時か 成会盛岡教会で拡大総務会 )は11月7日午後1時か奥羽総支部(田澤清喜会 本宗教青 奥連、 14式典」の感想発表を行っ 工藤真樹委員長 年会奥羽連盟

その中である青年は 8 ) の 青

と懸念を示した。

また同改正草案にお

「社会的儀礼」や

習

かし

「習俗」とは、例えば

指摘し、

多様な選択肢の必

史」学習会が終了「活動の原点と歴

総務会に先立ち、8月14日、

東京・九段の千鳥ケ淵戦没

14式典」が、新宗連

総支部・協議会

つながる可

能性がある」

大きな暴力に

<新宗連>

となる一方で

がり」や「紐帯」 が人々の「つな

幅広く討議された。

とを報告。宗教

けでなく、天皇制の問題なンが行われ、個人の尊厳だ

ブルがあったこ

り

パネルディスカッショ

したことでトラ

がコーディネーターとな

の参加を拒否

この後、

本山一博委員長

ことを解説した。

日曜に休むなど、

「起源は

要性を訴えた。

を想定して

いると説明。

ことができるようになる」

へのあり方に国が介入する

治家が公的に行うことは 俗」となる宗教的儀礼を政

宗教にあるが、宗教性を感

「政教分離原則」に反しな

教育ができるとして、

個

という価値観を押しつける

『人』はこうあるべき」

はまった人」を意味し、 う表現は「個性無き、

型に

と素直な感想を述べ、「自ていて、すごいなと思った」

のス | る生き方ができているか」「8 | た戦争犠牲者に顔向けでき た戦争犠牲者に顔向けでき 分たちは平和の礎となられ

一点を向いて、一心に願っ「雨にも関わらず、みんなに見舞われたことに触れ、

した。

総会受け入れについて協議 予算案などを承認し、全国 平成28年度事業計画および この後、総務会を開催。

感想や学びを共有した。 て、それぞれの言言でいいに受け止めたかなどについ るのか」と疑問を感じたこ けになったと語った。 同じ人間なのに争ったりす 突然の雨をどのよう 「どうして

敗を繰り返しながら、質に関わるテーマ。失一つが、実は宗教の本ーなどもへのまなざし 格闘中です。 成会次代会長) 今も自分の「弱さ」と (庭野光祥·立正佼

【好評既刊】

◎四六判上製 ◎定価2160円 四六判 定価1260円

いかす。 一切問題では、 でいます。 でいまります。 でいます。 でいまな。 でいまな。

-8469 京都市伏見区中島河原田町28-106 975(611)7855 FAX 075(603)6752 /www.hakubasha.co.jp 価格模込

春秋社

シリ 最新の日蓮研究の成果を提示し、 ĺズ 蓮

一 第五巻 現代世界と日蓮 木木・上杉編第二巻 日蓮の思想とその展開 小松·花野編 1 第二巻 日蓮の思想とその展開 小松·花野編 1 第二巻 日蓮の思想とその展開 小松·花野編 1 第一巻 法華経と日蓮 A 5 判上製カバー装 ◎内容案内呈[編集] 上杉清文·末木文美士·花野充道 その思想の現代化を目指す. 4 4 4 4 3 0 0 0 8 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 円 円 円 円

東京都千代田区外神田2-18-6 (3)3255-9611〈価格税別〉 http://www.shunjusha.co.jp/

合唱(右から 祈念像讃歌を

もつきぬ宝なり」と述べ

和祈念堂開堂式で歌われた

教祖、初代宮司の

祖代々の追善回向を営んきと脇導師が入座。読経供養が行われ、会員各家の先養が行われ、会員各家の先

判断、

自分を中心に行うの

主を務め、

祝詞奏上のあと

大山阿夫利神社の神職が祭

連盟キャラバン」については来事会で決定したことや、「地方(新宗連、保積秀胤理事長)理

を報告し、各連盟からの意見、年度も継続する方針であること連盟キャラバン」については来

次アジア平和使節団」の進遣する「平和への巡礼Ⅱ─新宗連全国総会、来年2月

に、あらゆる物事を自分の

番大事として、「ご利益をし合わせて生活する事が一

ではなく、仏の教えに照ら

参列者全員が玉串奉奠し

「御霊の心安かれ」

けただけでなく

切り開いた道を引

年10

Ė

沖縄に建立された

「神石」

「沖縄平和祈念像讚歌」

上鬼へ終裁があいさつ。 「人の命の尊さは、汲めど でしきぬ宝なり」という。 「人の命の尊さは、汲めど でした。」

居徳久総裁があ

参列者が献花。

全参列者が

ざるところな

建立を計画。1

974(同

霊万物尊愛にあり」などの人 悠久平和築くには 万

「みおしえ」を示した。

大祭で玉串奉奠を行う本山宮司

日祭です。宮司に

報恩会」を厳修した。 念日並びに妙愛上人23

でです。 思うようにするは信心にあ に通りにするが信心、我が が構主は、御法文に「聞い

霊塔。当日は晴天に恵まれ、慰めるために建立された慰

・14式典」が青年会主催になることが新日本宗教団体連合会

た世界中の勇士たちの霊を

太鼓の音に合わせ参列者

なったことは組織

承して初めての前

に立ち、「宮司を継

市の本部題目堂で「創

一時から、 日正講主)は

. 三重県

め

命を捧げて散っていっ

溝上恵照師が祖国を護るた

高見交換を行った。はじめに第 51回以降の「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8・44式 中)」について意見交換を行った。また、第51回以降から「8

(昭和33) 年、

初代教主の

万国忠霊塔は1958

回立鈴 7忌記鹿日

山宮司があいさつ めた。祭儀後、

のトップを譲り受

祈念祭では祭儀に続き、

惨禍及ば

ジアにひとた 和3)年、「ア

び戦雲おおえ

る平和の郷」実現のために、

人命尊愛神石」(祈念碑)の

の責務なりけり」 がれを浄めるは

「よもの

の天啓を具現化し、「悠久な 教祖は「琉球は聖地なり」と

入魂。

「もろもろの罪やけ

この後も儀式を修

現證宗日蓮主義仏

立講

し、妙愛上人が著した19

上村講主が高座に移動

回慰霊祭」を執り行った。 境内の万国忠霊塔で「第57

伊勢原市の大山阿夫利神社

参列者の焼香が続いた。

行い

本

光大神」を迎え、

世界の人

い平和祈念像の前に座し、

トリエを訪問。完成間近

普天間にある山田氏の

町北山の中腹に「小豆島御 年に降臨の地に程近い土庄

| 扉を行った後、下山し、本が本山宮司に鍵を手渡し開

妙愛上人報恩会創立記念日並びに

藤井妙愛上人の遺影前に進 だ。上村講主が初代講主・

報恩謝徳の読経供養を 、上村講主と脇導師、

日午前11

時から、神奈川県

(眞塩慈照教主) は11

東京都渋谷区の七曜会

殿から拝殿に

に接した。

式典では祭儀に続き、出紀)年9月22日、出居教祖

「軍人の政治

し」との天啓

24日午前9時半から、沖2会(出居徳久総裁)は10日

沖縄

一を斎行した。

清太郎教祖は

同会の出居

期、地上戦は苛烈をきわめ、

教祖は73(同48)年11 山田氏と親交のあった出居 が安置されている。生前、

民間人を含め約20万人以上

928(昭

が犠牲となった。戦後、出居

で「人命尊愛神石41年祭」

られた。

沖縄では、

太平洋戦争末

東京・池袋の修養団捧誠 | 県那覇市の沖縄県護国神社

人命尊愛神石41年祭

修養団捧誠会

は聞き入れられず、教祖はに提出した。だが、その訴え

同祈念堂には、

山田真山氏

久平和祈念祭」を<br />
斎行した。

本宮で

「御本宮大祭」を斎

を斎行。拝殿で「御降神願」

22日午後1時から前日祭

かみ合っている宗教活 神秘体験の3つがそろ 申必本倹り3つがそろハ、本山宮司は「おかげ、教え、

動を

光」を奉唱。本山宮司、斎上した後、一同で「十五条

したい」と所信を述べ 「布教と教化に力を入

などの祭儀を行った後、本

23の両日、香川県小豆島の

(本山一博宮司)は10月22、東京・三鷹市の玉光神社

月に大祭を斎行 本宮」を建立、以後、

いる。

毎 年 10

一度にわたり内閣書記官長

不敬罪により懲役刑に処せ

作した「沖縄平和祈念像」 が18年余の歳月をかけて制

工教祖に「玉光大神」が降臨 豆島・双子の浦で、本山キヌ

上の本殿に向け参進。本殿

932(昭和7)年、小

正安型り卸申僑を渡り、山山一博宮司と斎員、信徒がたるの象件が、

教団として

『超作』

 $\mathcal{O}$ 

道を

が順次玉串を奉奠した。

員、運営委員会議長、

信徒

したことから、59(昭和34)

琉球は聖地な

滅ぼす」との「謹告文」介入が国を滅ぼし、世界

世界を

を

移動。沖縄平和祈念堂で「悠

午後は、糸満市摩文仁に

斎祀精霊法要に移り、

読経

長、来賓などが焼香した。

脱金剛宝塔に奉斎される38の間、上村長老が今年、解

上村長老が今年、

野法主と役員、斎祀精霊奉 村長老は謝辞を述べた。岡 金などの目録が渡され

斎祀精霊遺族などが

岡野聖法法主が敬白文を奏

が家庭、社会、国家、

世界

ましょう。その足元の平和

した後、

僧侶による読経

と天茶献供の儀が行われ、

の中、上村長老、岡野法主、

野英祥法嗣、

岡野英夫理

長から上村長老に護持奉献献納の儀では、岡野理事 献納の儀では、岡野理事に通じるのです」と述べた。

催した。

保積秀胤教主は1

告祭並びに祝賀式典」を開

教主様教統継承20周年奉

宮城県仙台市の大國神社で

積教主夫妻の拝礼、

大和教団(保積秀胤教主)

時から、

史子開祖から大和教団の教日、第二代教主として保積

宮

同継

承

初

0

祭儀

ればなりません」と語っ

た。

午後4時過ぎから祝宴と

995 (平成7) 年11月3

統を継承した。

小豆島御本宮大祭

玉光神社

ライド上映、鏡開きなど

どの

23日午前10時からの大祭えていきたい」と述べた。

では、本山宮司が祝詞を奏

本山宮司があいさつ。

なり、

宮司継承のお祝

いス

山博名誉宮司)の神意に応

い、玉之光照大御子(故本広めるための体制整備を行

大國神社本殿で執行され

が入殿し、開式。献華の儀導師の上村貞郎泉涌寺長老

のため、

人のためと自覚し

法要は舎利殿に式衆、大

ことが大切。 欲を慎み、

らの役目を果たすことが世ことが大切。そして、天か

天からの

役目を果たす

東京・四谷の解脱会

霊の名前を一霊一霊読み上

解脱金剛67

年祭法要

解脱会

敬白文の奏上、焼香などの

献供の儀、岡野法主による 儀を厳修。献華の儀、天茶

後、

勤行を行った(写真)。

聖憲会祖)

67年祭法要」

を慎み、少欲知足を知る岡野法主が式辞。「自我

要(岡野

「解脱金剛

で焼香した後、

勤行を行っ

して霊界で働いておられ

る。

私たちも国の安泰のた

め心ひとつにしてまいり

ょう

と述べた。

斎祀精霊遺族も自席 岡野法主らが焼香を

下にいらっ

います。

そ

いさつで「御霊は金剛様の最後に、岡野理事長があ

奉告祭並びに祝賀式典

## (2)

出

周年迎える

読経の後、

佐原会長が

後、

浮御台で布施行

秋宝 の聖地で厳修工塔供養大祭 妙道会教団

教団 団(佐原慶治会長)は11大阪市天王寺区の妙道会 地で1975(昭和5)年月3日、滋賀県大津市の聖



尽くし大祭を厳修した参列者が宝塔前広場を埋め

列を組み、会祖を祀る解脱

金剛宝塔前に参進し奉斎之

供養大祭」を厳修した。 目の節目となる 大宝塔涌出以来、

厳され、御旗と佐原慶治会式。献花・献灯で祭壇が荘 塔奉安殿ご開扉の儀」で開列する中、午前10時半、「宝 が祭壇前に入場した後、佐長が宝塔に入塔した。導師 原会長が塔中で、 られ、多くの家族連れが参 のけやきなどの木々に迎え 早朝から、 色付いた参道 は、 佐原会長が「ご教示」に

「祭文」を奏上した。

宝塔 幕の儀」に臨んだ。 年部員とともに 宝塔に奉持して、「宝塔偈」 を会員代表から受け取り、 再び出塔し、幼少 「芳名板除

周

年

に

向

け

歩み

に尊い人生を歩むための教になっています。法華経に ち溢れ、多くの人がその虜進んだ世の中は、欲望が満を振り返った後、「文明が す。法華経の実践を通して、えが累々と説かれていま 最上の人生を送っていただ 立ち、大宝塔40周年の歩み 行った。 浄化火焔熱祷の御祈り」を 福岡県筑紫野市の本庁聖堂 は10月25日午前10時から、 (昭和52) 善隣教 「御神尊感謝大祭― 大祭は、

御旗と佐原会長が退場した一 聖訓・三大誓願を奉唱し い」と述べた。

げるもの。 国御行場」の中心である原 祖(御神尊) 24日午後6時から、 への感謝を捧

体になった力久辰斎教 年に帰幽し、 1 9 7 神 を営んだ。この後、

の証 場で恒例の奉祝行事やテンした。午後からは、聖殿広

会歌を斉唱 聖殿広 堪能した。 トバザ ルが行わ

# 者は心ゆくまで秋の聖地を



べた。 通して、人様に慈悲、慈愛の

道と

が点火され、 教祖が帰幽後、 力久道 大祭 御

が

22日間の「幽顕行」を経て 田行場で「大祭前夜祭」 行われた。 「幽顕行完結妙合之御儀」 一神如幽顕自在之神」とし

(力久道臣教主)

御神尊感謝大祭

25日午前10時、聖堂に教25日午前10時、聖堂に教で組み、本庁まで運ばれた。 会旗が入場して開会。 て甦ったことに由来する

御焚き上げの前に、「洗 を行い合掌する力久教主

年で、久しぶりに『ひょっと 力久隆積聖主様聖務50年の

佐江議長)

和歌山県協議会(上田真

和 歌

Щ

川面の視点から学習

太さんの説明で、

時停船。

落語家の林家染

上流の東横堀川の水門前で

戎橋など20橋をくぐり

湊町船着場から道頓堀橋

れた水の流入を防ぎ大川

(旧淀川) のきれ

いな水を

「御慈光」を照射した。力人し、お焚き上げ場に点火、大祭御神火」を松明に採 どうしていくのか、踊りを

園

一の橋大手門跡周辺、

行った。参加者は二ノ丸庭

東堀周辺の桃桜林、

議長)は10

26日正午から、 (小林佑至

続いて土佐堀川に進み、

**大阪府協議会** 

大

阪

横堀川から大川に入り、

大東

いることなどを学んだ。東めの閘門の役割を果たして

克服して船を通航させるた

か、高潮の防御、

水位差を

導入する水質浄化機能のほ

「船渡御」のコースへ。阪天満宮の「天神祭り」

0

0年天下一祭」の年で、水都にわ探検クルーズを行っにわ探検クルーズを行っ

を眺め、東横堀川を南下し大阪市庁舎や中ノ島公会堂

参加者の一人は「いつの道頓堀川に戻った。

ら、水都の歴史と現在の大削400年を迎えることか

化を学ぶことができた」とあらためて大阪の歴史、文

も目線と違う眺めを見て

・大阪を支えた道頓堀が開

阪を学んだ。

語った。

し交流を深める永源寺の清掃通

集めた。境内裏や側溝の中取り、境内地内の落ち葉を

滋賀県協議会(左藤滋光

滋

賀

第10回教団交流1月27日午前10時

さらに交流を深めた。 グループごとに昼食をとり を収集した。清掃奉仕の後、 半の清掃で約50袋の落ち葉 どを精力的に清掃。1時間 場所や参拝者用のトイレな など、普段目の届きにく かれて約1時間清掃奉仕をンを行い、10グループに分つの後、オリエンテーショ

史と文化を学ぶ水都・大阪の歴

で 焚き上げた。 引き続き聖堂で「御神尊

本当の宗教者としての

### 善隣教 て教会長、教会旗手、場のお焚き上げ場へ。 もそれぞれ「生命浄化」 堂中央を通り、御霊殿 札」を奉持した教師ら と「大御聖経」 上した。この後、 臣教主が臨殿して祭文 木札」を奉持して移動 「御神瑞」 「御神瑞 大祭 の願信続前がい御たい佐い広聖木神 教主 を奏

で 一 に 会長、来賓、教会旗手、信 の御焚き上げに続いて、教 の御焚き上げに続いて、教 の御焚き上げに続いて、教

### 賓への「洗霊」を行っ お焚き上げ場と教会長、 た長、後、来 「洗霊」

る「正調ひょっとこ音頭」のた。信徒の坂下克江氏によ

清掃奉仕活動和歌山城公園で

『笑え、笑え、笑わんかい』とこまつり』を行いますが、 言われた御神尊様の御心を

清掃奉仕活動を行った。

上田真佐江議長のあいさ

10時から、和歌山城公園で

とこサンバの信徒総踊り

盛りです」と熱い思いを表

青春 真っ | 明した。

### 乗まつ り 立正佼成会

統継承20周年を祝う会」 を開催した。同行事は辺で「お会式・一乗まつ Š 東京・杉並の本部

どぎの会

れた。首都圏の会員を中心

展した。

も加わり、41隊約8千

頭に「一乗行進」

が開始さ

慨深く20年を振り返った。 せて頂いております」と感 頂いて、私は今ここに立た

た奉告祭では、斎主の保積 志胤統理が祝詞を奏上、 参列者 保積教主夫妻(中央)を囲み鏡開き 保 来賓祝辞、祝電披露を受花束贈呈が行われた。 者と教師会、婦人部、青年いた。保積教主へ、教信奉 特別功労者表彰式などが続 つ、相談役の委嘱状授与式、長の大泉鉄之助氏のあいさ 会、総裁家から感謝の品と

えに、「皆さんの熱い心をけ、保積教主が謝辞を述べ

祭の後、祈祷殿で祝賀式典玉串拝礼が行われた。奉告

20年を綴ったビデオを上 映。教主夫妻が入場し、 が催され、冒頭、教統継承 会教 心得ております。 立正佼成会(庭野日 お会式・ は10月18日正午過

聖人の遺徳を偲ぶとい に、庭野日敬開祖に追慕・

とも 日蓮

そして「これからの10年が 当日は狄凊れのられ、Fの思いを新たにするもの。 讃歎・報恩感謝・継承・誓願 式を行った後、本部班を先祥の地・修養道場前で発進 後零時20分、立正佼成、 当日は秋晴れのもと

午

り歩いた(写真)。

展や地元商店会の模擬店が 車場では、各種団体の物産 大聖堂前広場と普門館駐

向を凝らした踊りも交え練鼓のリズムに合わせ、威勢鼓のリズムに合わせ、威勢





らも実践していくように」 う妙愛上人の教えをこれか 【諸会議 報告】

報恩会を終了した。 は妙愛上人の御徳を偲び 世界の勇士慰霊万国忠霊塔で

続いて「 を説明、参 節団」につ

について派遣趣旨や行程-第25次アジア青年平和使 参画を呼びかけた。

> 発災から5年を迎える東日本で生復興祈念集会」については、 生復興祈念集会」につる

て協議。この結果、「第4回新づき、来年度の事業計画についた「平成28年度事業大綱」に基

七曜会 大)委員会」を開催してる。 11月7、8の両日、札幌市内のホテルで「平成27年度第4回(拡 ま) は 8日午前8時半に開会。岩渕明大委員長の開会あいさつの後、「ユースフォーラム2016」について新日本宗教青年会中部連盟(青中連、高木寿副委員長)が進捗状況を報告し、委員らで意見交換を行った。

2月17日の新宗連理事会に上程

ついては継続して協議を行う

今後も注視、研究課題にマイナンバー制度の運用

法

研

ることを申

て審議。意見交換の後承認し、事業計画並びに予算」案につ

「平成28年度事業方針

テーマや形式、具体的な内容にすることとした。平和学習会の催する方向で次回理事会に提案開催し、全国で平和学習会を開

(8・4特別委)が準備を進め典』・終戦77年特別委員会」続いて、「第50回『8・44式 委員会の前日には、札幌護国神社を参拝した後、遺品殿を拝神社を参拝した後、遺品殿を拝視した。また、日露戦争や第二れている彰徳苑に移動し、説明を受けた。この後、沖縄戦没者を受けた。この後、沖縄戦没者を受けた。この後、沖縄戦没者を受けた。この後、沖縄戦没者を受けた。この後、沖縄戦没者を受けた。この後、沖縄戦没者を受けた。この後、沖縄戦没者を受けた。

復興祈念集会など協議来年度事業大綱に基づき

ら、第28期第7回企画委員会を委員長)は11月9日午後1時か新宗連企画委員会(新井光興 企画委 後、 度運用の推移につ

は、聖なる部分をもつ宗教法人 は、聖なる部分をもつ宗教法人 は、聖なる部分をもつ宗教法人 は、聖なる部分をもつ宗教法人等への指 は、聖なる部分をもつ宗教法人等への指 は、聖なる部分をもつ宗教法人等への指 け、意見交換。マイナンバー制拡大宗教法人研究会の内容を受 て事務局から報告が行われ 幹事会に先立ち開催され については今後も。マイナンバー制

の第28期第5回理事会で決定し協議事項に移り、全国総会で況等の報告が行われた。 た。 か、専門家を招き学ぶこととし 法律がどの程度適用されるの 世俗の労働に関する

# 頂ける最善の道であると言

との法話を述べ、参列者ら 来年度事業方針など承認第4回(拡大)委員会開く 新宗連青年会

来年度以降の「地方キャラバン」

新日本宗教青年会連盟(新宗

新宗連宗教法人研究会(宗法 研、平松千明座長)は11月10日 午後4時から、平成27年度第2 回幹事会を開催した。

国総会、来年2月に派 8の両日に開催した の準備状25

# 感謝大祭祝賀式」

の祝辞などの後、力久教主披露、信徒代表の祝辞、来賓 第一歩を進めよう。今年は 年後の)立教70周年に向け、 が登壇して「お言葉」。「(2 力久教主

い良く踊り、最後はひょっりどりの衣装をまとい、勢いとこまつり」が始まった。いりといの表表をまとい、勢いので表をまとい、勢いい良く踊り、最後はひょっとこまつり」が始まった。い 誠を捧げることです」と述

る運動」を紹介するカフェ が行っている「一食を捧げ がこれ、今年は立正佼成会 で、歓喜の渦に包まれた。 近くの桜林に分かれ、公園 市が用意したゴミ袋を追加 め、次々とゴミ袋に詰めた。 ・ し、約200袋を収集した。 まれ会話が弾み、信仰体験 どを語り合った。 や日頃の信仰活動の紹介な ング。共に清掃奉仕を行っ 昼食をとりながらミーティ たことで自然と連帯感が生 清掃後、グループごとで

や東北復興支援物産展も出

城内各所で清掃奉仕 永源寺派大本山永源寺の清年同様、東近江市の臨済宗会」を開催した。今回も昨 今 は 10円 掃活動を通じて交流を深め 第 10

始。ゴミ袋やほうきを手に の後、6人ずつ15のグル プに分かれ清掃活動を開 左藤滋光議長のあいさつ



敎

# 世界平和、万民幸福を祈願

0

庭」を全国

宮城県仙台市の大國神社で 例大祭」を執り行った。 ||教五十: 神ながら道統百十 大鳥居前に整列した祭 火祭随員らが本宮へ参 八周年 秋季立教 詩から、 八年・ ょう」と呼びかけた。 の庭』を全国で開催しまし く広げていきたい。『大和を報告し、「この和を大き 済を活発に行っていること 掌加持」も行うなど善導救 命により全国を巡り、 「御親教」

と続き、 信条」などを唱和した後、 胤教主が入殿した。 修祓之儀」「開扉之儀」 斎主拝礼。 五大

進し着座後、斎主の保積秀

保積教主が「秋季立教例大 福、心願 この後、

祭詞」

祭員、火祭随員らが参 心願成就を祈願した。 「大火祭祈祷」 大広前に斎主以 が厳

した。この後、 などを奏



# 循環型社会の

第二神殿建設を報告 構築を

世界総本山・元主 宗教真光(岡田光央三代 宮で「56周年大祭」を 山・元主晃大 日から3 典開始。 していくことを示した。 「御親拝」の後、「天津祈兴開始。岡田教え主による 岡田教え主が臨場し、式 「伊都能売大国魂大国 崇教真光

日にわたり、 教え主)は

集』と『神向き讃詞』の解 典に先立ち、橋本弘明大祭 田光央三代教え主が続け たことを報告 『陽光子祈言 時からの式 奏上。 われた。 また、 御親拝」を行 来賓紹介、 したことを報告した。 神組み手(信者) 岡田教え主が再度 「感謝御礼」が行 式典が

用できるものとすることを

は地域の避難所としても活

委員長があいさつを行

説が完結し

この「神示

し」を実践

斎行

Ī

けた。

するよう、

参加者に呼びか

地上天国実現に向けて行動

にかかっている」として、

ことを報告。

「エデンの園

に戻れるかは、

我々の行動

のある聖地内に建設するこ

同神殿は多

第二神殿を総本山

目的の建物とし、 とが報告され、

災害時に

「神歌」を全員で

辞などの後、 追放された人類 「御教示」。 エデンの園を 岡田教え主が る発電の試みを続けている

デンファスト、地上 えて、 帰が目的と語 異常気象が起こ と霊の洗礼を迎 2 デンの園への復 の歴史を語り、 天変地異や 現在は「火 いる」とし ラン

る時代であるこ れを乗り越える 会を築かなけ 「循環型社 祭員が入座。「祓詞」奏上、 表による玉串奉奠、 光興会長が入座し、 大祭祝詞」を奏上した。 幕。「誓い信条」唱和の後、 群馬県高崎市の本部本殿で 「秋季大祭」 「献饌」の後、 続いて、斎主、 みろく太鼓とともに開 を斎行り

(3)

岡田教え主が「御教示」。現在は「火と霊

の洗礼を迎えている」と説いた



国内外から多くの組み手がほぼ同内容で執り行われ、

大祭は1日、

3日とも、

救世真教(新井光興会長) 来年の立教50年に向け

斎主の新井 10時から、 「 秋季 とコー ゙ディネ゙゙

参拝者代 面に立ち、「浄霊」を行った。 って」を行った。信者2人 野田松造教主の思い出を披 の企画「信仰生活を振り返 教50年を迎えるにあたって 「真鏡拝読」の後、 れた喜びなどを語った。 「寿ぎの舞」が奉納され 入信のきっかけや、 本部建設の奉仕に携 新井会長が正 -タが登壇 来年立

スこそ大事 上などの後、

参集した。

先祖 大神教 (西野新也管長) A

0

力をい

ただく

西野新也管長と斎員が神前 奈良県桜井市の本殿神前で 雅楽が流れる中、 秋季大祭」 を執り行 時から、 斎主の

が行われ、 続き、斎主が神祠と霊祠に を拝する扉が開かれ、 拝した。ご神体の三輪山 稲穂、御神酒

祭主の山本宮司 大祭祝詞の奏上後、 玉串奉奠を行う いることを自覚し、

信仰

いくことの大切さを述べ

れた。

小憩の後、

直会が関

の催

動かぬものを得る

を炎の中に投

八れる参列者

無病息災など所願を記した護摩木

じゃんけん大会で

説いた。

天元教主が、真剣の神刀で「除魔招

を祈念した

々に尽くすこと、神のおかことが大切として、他の人の基礎をしっかりしていく

げを真剣に捉え他に分けて

修行の在り方を説く

教主就任55周年報告も

神恩教

するコツ

### 他の人々に尽くすこと

閉祭の後、保積教主が

に立った。

御神

手

大和教団



季例大祭」を斎行した。

はじめに夏目白洲教主が

夏目気道教祖が説いた「地 ることが大事です」と述べ

運勢を良

奏上

「讃仰歌」奉唱、 奉読と続き、

「御神諭」

中に動かぬものを得るこ

と」が必要である

と語った。そのた

医王山立宗(并上順圓主

た護摩木を

月3日午前10時か

祈願した。この後、

めに「懺悔、感謝、

まで救われること、

「心の

主が祝詞を奏上。「浦安舞」 の後、斎主の水野富久子教

しが眼目」と説いた。しか

愛知県名古屋市の本部で 教主)は10月25日正午から、

さとし」。入信するきっ

神ながら教(水野富久子

典を終了

続いて、

水野教主が「み

何事も感謝で実行神ながら教

「秋季大祭」を斎行した。

「修祓」「巻簾」「献饌」

ことを述べ、病気や災難は

心を確認する機会に

よいことを慎んで 医干山立宗

けとして病気や災難が多い

きっかけに過ぎず、

「心直

が奉納され、玉串奉奠が続

いた。全員で「大祓詞」を

と指摘し、心だけでなく魂 し、「心はコロコロ変わる」

相反するものが助け合い

上天国」を作るため精進を

東京都墨田区の本院で は10月25日午前11時から、

様に心を込めて手を合わせ

きる。

宇宙創造の神、

神恩教(夏目白洲教主)

はここで座ったままでもで

たることが報告され、夏目今年、教主就任55周年にあ

求めた。

この後、

修祓に続き、

夏

教主に会員2人から花束が

大きな拍手が送

目ヒミ子院主が大祭祝詞を

御神酒の下賜が行わ

(井口天元教主)

大阪府羽曵野市の

部で「秋季例大祭」を斎行から、東京・中野の東京本から、東京・中野の東京本日間日午後2時では、10月18日午後2時では、10年には、10年には、 した。祭主の山本行德宮司 た後、 屍 曾貴之祓、修祓、御戸張開 と祭員が昇殿し、 山本宮司 着座。

を奏上。 御神言」 の奉納、 献饌などを厳かに行っ 奏上で典儀を終え 玉串奉奠、 神楽「宝生の舞」 が大祭祝詞 説いた。そして

事であることを

遠方に行き

われ、天元ダニッカれ、天元ダニッカれ、天元ダニッカを、身禊奏の大麻乃儀、身禊奏

説明し、リズムに乗ってい生命が生まれていくことを

たりします」と月の運行で 息を引き取ったり、生まれ

くことの大切さを解説。

べて人間の思いを超えた神つ。世界で起こることはす

そして夏目教主があいさ

女から御神酒が振る舞われ、参列者一人ひとりに巫

玉串奉奠で祭儀を終え

季大祭」を執り行った。

あたり、

「月は人の命に関

第一太鼓が打ち鳴らさ

わり、潮の満ち引きで人が

斎主の天元教主と神職

原市の大県教会神殿で 日午後2時から、

秋

る旧暦の「豆名月」の日に

き方」と話した。

また、病気などを

候を考慮し、境内の神廟前 た。朝方からの不安定な天

師に、先代主管の即真尊龗・小憩の後、大岡住職を導を唱和した。

の歌」「最勝王院祈りの歌」

で行ってきた採燈護摩供養

師の八回忌法要を厳修し

本堂内の護摩壇で厳修

会述べ、それこそ 希望、精進が大切」

寺で「平成27年度秋季大祭ら、石川県金沢市の医王山管)は11月3日午前10時か

列者一

同で「光明心院誓い

・大護摩法要」を執り行っ

本日が月に枝豆をお供えす

元教主が「聖教」

いるで、

奉納の後、

大阪府柏 は 10

多くの考えがあることを述 想を話し、 連)全国総会に出席した感 日本宗教団体連合会(新宗 この後、 10 月 7、 同じ宗教者でも 山本宮司が「御 8日の新 はなく、 も 修行の在り方 滝に打たれたり 夏目教主は「大 中を巡るので

「修行

員、参列者が順次、玉串を詞などを奏上し、斎主、斎 で急した。この後、天心会掌祝意した。この後、天心教神

の神刀で「除魔招福」

を祈 真剣

また、「陰陽、太陽と月、

五十鈴の儀」を行い、古われ、天元教主が「猿!

奉奠した。

恒例の重要無形文:

化財

となくリズムを作っていく

ことが運勢を良くするコツ

重んじて、それぞれ侵すこ

を助け合って、それぞれを 男女など相反するものが力

さを説い

この後、

奉納余

感じることの大切

り、式衆が法螺三唱、法弓

医王山大権現祈願作法に則

よいことを慎んで行 を伝え、「悪いことをせず

いなさ

「簡単な言葉ですが奥

大岡永周氏が導師を務め、比叡山一山薬樹院住職の

ち

『七仏通誡偈』の内容

大岡氏があいさつに立

を四方に放ち堂内を清めた

が深いもので、

ついつい悪

ること」が幸せと

も感謝をもって だと述べ、何事に ていくことが大事 自分のプラスにし

> した。 を、

「させていただけ

露され、直会とな

全員が読経供養を行う中、

し、護摩壇に点火。参列者後、導師が「願文」を奏上

間です」と説き、

今日

いことをしてしまうのが

身体健康などの所願を記し

無病息災や

いただきたい」と結んだ。仏様、権現様の御前で自分

興として舞踏が披

り、「砂上の楼閣」に生きとで不幸になることがあ 現代は予期せぬこ 説いた

また、

ことが大事」 て手を合わせる 神様に心を込め

える年」と述べ、小野田教
『抑(そもそも)』を踏ま 主の「地上天国をつくりた い」との願いのもと、救世 教え」。「来年は立教50年、 具教が立教されたと語っ<br /> と指摘。 がたさが分かる」として、 況と説明。 になったときに健康のあり 「何事もバランスが大事」 v説明。 しかし、 「病気「健・富・和」 となる状

苦しみである「病・貧・争」 「地上天国」とは3つの 体の両立)とは、 ている をとることの重要性を 「霊体併行」 「霊体併行」(心との救世真教で説かれ していると説 「バラン

を、

誕生日を祝った。 スピーチやゲー 誕生祝い」を行 か会館に会場を移 などで新井会長の 式典後、さわや 「会長先生御 のれた。 詞」を奏上した。

Le IIII

を説いた とることの重要性 え」。バランスを 串奉奠を行った。



母自



## 教団の沿革について講 大祭終了後、西野管長が、



ったについて講話を行 管長が教団の沿革大祭終了後、西野

## 謙 な姿勢で

世のため人のために

大和教

で「秋季例大祭『感謝祭』」宮城県塩釜市の大和教本庁 は11月8日午前11時か 東日本大震災から (保積敬子教 ら祖 興の願いを込め斎行した。 「一拝の礼」の後、 斎主の保積敬子教祖と斎

積教祖が<br />
「一拝の礼」を行

をするように諭した。

参列者の代表らが続い を奉奠し、教団責任役 を行った。西野管長が玉串 参列者に清めの「お鈴祓い」 「浦安の舞」を奉納した後、二人の巫女が太々神楽の 参列者全員で 西野管長の祝詞奏上 員 の復 奏上」「大幣祓いの儀」 員が入場。保積教祖による たことなどを説明し、主斎 司の了承を得て分離独立し 神神社の小嶋盛可袮宜が宮 教活動が一切禁止され、大教院制度の廃止と神職の宗 年の社教分離令により、大ことに始まり、82(同15) 神神社に小教院を付 神神社に小教院を付設した教院制度の公布により、大

の



いて解説した。

大慧會教団(石倉恒男会 切磋琢磨して実践 相手に寄り添い導く 本殿講堂で「第65回秋季大から、大阪府堺市の本部・ 大慧會教団 た。部長はそれぞれ決意発表し

と御旗が授与され、各新支 われ、石倉会長から任命書

のためにも切磋琢磨しま. 分や先祖のためになる。 教えを実践することが、 めることは難しい

4支部の支部長任命も行

は11月3日午前11時半

摩壇に投じ、諸願成就を祈 摩壇に火が入れられ、保積 願した。玉串奉奠の後、 祷」を斎行した。全員で 教祖らが護摩木を次々に護 感謝、希望、精進が大切」と述べた水野教主は「みさとし」の中で、「懺悔、 「神拝詞」などを奏上。護 祝詞奏上並びに護摩祈 保 仰が必要であり、心素直にと説いた。そのためには信 が大事と述べた。そして を込めることが必要である 反省し、謙虚、真摯な姿勢 誤りがないか自己を見つめ 「大和魂」を汚さぬ生き方 行を祝い合った。り、秋季大祭の斎

感謝を形に表すことが大事 であると述べ、行 教祖があいさつ。「大神様」 来賓あいさつの後、保積 「お言葉」を読み上げ、 式典を終了 してまいりましょう」と参 の御心を心に刻み、 神様と開祖(保積謙光) 続いて、保積教祖は「大 へのために役立つ人とし 互いに幸せな道を全う 列者に呼びかけ 世のた 様

祝第65回秋季大祭刊第3首

謡や馬頭琴の演 会が催され、民 奏、 況となった。 が披露され、盛 大黒舞など

の思いを述べ

が祝詞を奏上 斎主の保積教祖 文」を奏上し、み教えを守 祭」を執り行った。 石倉寿一次代会長が「慶白 「大慧会歌」斉唱などの後、 玄題三唱、内々陣の開扉、

創業

来

法」を行った。 石倉恒男会長が「お究呪の することを誓った。全員で 「大乗経典」を奉読した後、 懺悔修行を精進 球体の芯を見出すことの ていくことが大切」と説き、 年秋に竣工する多宝塔につ き継がれてきたことや、 先日訪問した旅館が、 いて話し、 しさを引いて、 -30年で七代にわたり 石倉会長が登壇し法話。 「教えも継承 「幸せを求

護摩祈祷を

り実践し、

諸願成就

頑張るだけでは くことが大切と 手に寄り添い導 敗を懺悔し、 徳の発表が続 中で「導きは 長による体験功 とみ代第31支部 を奉読した この後、中村 その体験の 自分の失







上した後、全員「慶白文」を奏 石倉次代会長が





DDo





「憲法条文

「安全保障関連法案の参

明」を新宗連理事長名で発議院強行採決に対する声

式参拝」

に対しては、

された15

同 27

年9月に

安全保障関連法案が可決

戒

変更されてしまうことを警

若者の心境を推察した。

と何が違うか?

宗教進化

国立

科学博物館人類研究

長が「現代宗教は古代宗教 本文化研究所の井上順孝所

とが大切」と語った。 野)の視点を取り入れるこ

お寺の供物

支援活動を紹介

おすそわけ」の

支縁のまちネットワーク

外)との比較やソト(諸分 文化研究のため、ソト

論再考」をテーマに講演。

## 攻隊

生き方を学ぶ

などを

ガスリ

氏は

復

興 ^

向

け

ららなる連携を

の取り組みを紹介。

第 22 回

「読売国際協力賞」

論からの試み」 形説からみた宗教

委員会(WCRP

日本

の向き合い」

世界宗教者平和会議

委、一寄り系、「「TTT」を開始している。 一等らす家族への助け合い、 では、「おいます性」

「放射能問題と 「祭り・芸能

WCRP日本

委が集い

各団体が活動報告

現状と、伝統芸能の継承や どもたちが年々減っていく どもたちが年々減っていく

知覧や鹿屋などで研

# 青少年育成セミナー

開催した。 にかけ、 委員長) は10月27から29日 (新宗連青年会、岩渕明大 青少年育成セミナー ーンテーマに「 鹿児島県で「第4 同セミナーは、 『国民皆 しを 景、特攻隊員の遺書とエピける特攻作戦の歴史的背 見学に備え、先の大戦にお事務局員が翌日からの現地 続いて、

部隊が別れの盃を交わしたにある「桜花の碑」(神雷っていた旧野里小学校付近

ドなどをスライドとと

地)まで足を伸ばし、

当時

研設 完立

オ 周

ラ

を開

に発題した。

このほか、

 $\overline{60}$ 

年記念

玉

催際

を偲んだ。

「鹿屋航空基地資

この後、

南九州市

知覧町

國學院大學日本文化研究所

ルでは、特別展示

発所の60 60

年」も開催された。見る日本文化研究所

か、<br />
どのように<br />
青年を育成 出す』青年リーダー したか」を学んだ。 代の中で青年たちが何を ―『真の平和を生み 、今回は、 「激動の の育成」 料館」を見学。この施設は、 もに解説した。

後、特攻隊員らが出撃まで攻平和観音像を参拝した会館」を見学。敷地内の特に向かい、「知覧特攻平和

学。兵舎は米軍の目を欺く

過ごした「三角兵舎」を見

京・渋谷の同大学で、日本所は10月24、25の両日、東

は10月24、25の両日、東國學院大學日本文化研究

行った。

に直接足を運ぶことで、い委員長があいさつ。「現地 式。岩渕明大新宗連青年会27日午後4時から結団 ろいろと学ぶことができま 和の心を作る時間にしま 学び感じながら慰霊と

れの礼拝様式に従い、 特攻隊員の遺書、 の海上自衛隊鹿屋航空基地 軍鹿屋航空隊設立から現在 全員で黙祷した後、 が展示されている。 に至るまでの資料と共に、 (昭和11) 遺品など 年の海

塔」で岩渕委員長が献花し、 旧鹿屋海軍特攻隊慰霊 近くの小塚公園にある それぞ 慰霊 館では、遺書や絶筆を目の場で、特攻隊員の葛藤や戦場で、特攻隊員の葛藤や戦 当たりにし、散っていった 数日間を日の丸に寄せ書き てられており、出撃までの ために林の中に半地下で建

催した。テーマは「『日本

び国際研究フォーラムを開

趣旨説明。「開かれた日本本文化研究所の井上所長が

戦後70年の歩

みを振り返る

教団付置研

第14回年次大会

して登壇した。はじめに日

文化』研究の展望」。

24日は午後3時から、

念した公開学術講演会およ 文化研究所設立60周年を記

され、

4氏がパネリストと

国際研究フォー

ラムが開催

前10時半から、

争や特攻をどう捉えていたが多く、若い特攻隊員が戦照的に本音で書かれたもの 意識した多くの遺書とは対 学。特攻した隊員の家族に やトメさんの証言映像を見 た 宛てたトメさんの手紙や特 特攻隊員の遺品や写真展示 た陸軍指定の食堂を復元 鳥濱トメさんが経営して 攻隊員の手紙には、検閲を 「ホタル館」に移動し、 「特攻の母」と呼ばれた 歴史的に多様な展開を見せ 学・認知科学の影響を受け た宗教現象に対して、脳科

敎

亲斤

富屋旅館女将・鳥濱初代さ旅館」で、語り部の三代目 んから話を聞いた。 この後、 隣接する 富屋 う井上所長(左から2人目) フォーラムで趣旨説明を行

後の20年」が企画され、

の課題が十分に解決したの



「信教の自力 もある。 信教の自由」。これを守日本国憲法が保障する 新宗連では憲法の 新宗連の根幹で これを守 発化した。

を発表し、 法調査会が「憲法改正大綱」 16) 年10月に信教の自由 化し始めた2004 (平成 してきたのである。 に注意を払い、活動を展運用及び改正に関して、 憲法研究会は、 改正論議が活発 、活動を展開 自民党憲 政府の「解釈改憲」による で声明を発表。 集団的自衛権行使容認に対 して、 14 (同26) 年6月には、 可能となるならば、そ一内閣の解釈によって 新宗連憲法研究会名

法改正問題に取り組んでい動してきた。近年は主に憲 その時々の問題に応じて行

たことを契機に、

結成

0

精

神、

信教

0

自

活動が活

側

の恣意的な解釈によっ

条文はそのままに内容

員会・研究会を立ち上げ、

憲波問題への取り組み続く

(新宗連) はさまざまな委

新日本宗教団体連合会

正論議が再び高まりを見せ

る学習・研究を進めてきた。 設置して以来、憲法に関す (同25) 年に第二次安倍

晋三内閣が発足し、憲法改 ではなく、

条文 (主に第20条) が権力

「信教の自由」を保障した

原点と歴史 9

新宗連活動の

可能性を示唆しています」れは他の条文の解釈変更の

ことを懸念している。特に 釈改憲」が他の条文に及ぶ とし、集団的自衛権の是非 あくまでも「解

揺るがす」と述べ、 ねない「解釈改憲」への懸 を大きく変えることは、 の自由」の侵害に繋がりか が国の立憲主義を根底から 憲』によって国の基本政策表。「政府による『解釈改 信教

結成の頃から変わっていな

の推移を観察認識する必要

がある」。この点に関して

果と影響について報告。

が、

「おてらおやつクラブ

理事の松島靖朗安養寺住職一般社団法人お寺の未来

祉活動」をテーマに講演し

の活動紹介―お寺の社会福

た (写真)。

松島氏は「おてらおやつ

うか。靜かに世の現状とそかは誰がこれを保證し得よ

結成の翌年、

反対の姿勢を示している。

この背景にある精神は、

示されて 法的には一應完全 に近い 『信教の自 (中略) いる。

覧」には結成当初の精神が

「新日本宗教団体連合会要 (昭和27) 年に刊行された

うとも、変わることはない。

る活動の継続的把握とチェ 連営の適正化や透明化、自 正が狙いとした宗教法人の 正が狙いとした宗教法人の

時代がどれほど変わろ

念をあらためて表明

界にきたかの観が 下泰平が先ず宗教 下泰平が先ず宗教 下泰平が先ず宗教

憲法研究会は時宜に応じ学習会を重ねた (2014年10月7日)

とカ

ない子どもたちがい

あるべきか、さらに深

どう 制改

の信仰が篤く、「ピーナ・シュルツはキリスト教原作者チャールズ・M

過疎化・形骸化などと併せ、

活動」と説明。寺で供物を庭へ、『おすそわけ』する

や自律性・透明性の確保、

むしろ不活動法人

対策

まな事情により経済的に困

り』として頂戴し、さまざ

難な状況にあるひとり親家

ック機能などについ

とてしは

まから私たちへの

『おさが

『おそなえもの』を、仏さクラブ」の概要を「お寺の

「十分とは言えない」

公益法人制度改革や税

論されなければならな

新日本宗教青年会連盟

しょう」と呼びかけた。

隈元正樹新宗連

攻した神雷部隊の宿舎となは、人間爆弾「桜花」で特

人間爆弾「桜花」で特

供養を行った。さらに一行

29日は、

学ぶ青年育成」をテー 「維新ふるさと館」 「維新の志士に 新宗連 一尚古 青年会 を学んだ。 ステューデントの歩みなど 国に留学させた19人の薩摩 に国禁を犯し、薩摩藩が英

「郷中教育」や、鎖国中教え導いた薩摩藩独特の と館」では、先輩が後輩を見学。特に、「維新ふるさ とも持続可能か?」と題し、型社会は時代遅れか、それ リアム・ケリー 教大学教授の河野哲也氏は 果を振り返った。最後に立 人類学による<br />
日本研究の成 「アフォー イエー ル大学教授のウィ -ダンスと生態学 」をテーマに 宗教―認知理 氏は「神人同 氏は「日本

的倫理学の構築」をテーマ 会場前のホ コミュニティづくりプロジま」を会場に、「フクシマ「ビッグパレットふくし 半から、福島県郡山市内の事長)は11月10日午前9時庭野日鑛会長・杉谷義純理 半から、 同士の支え合い」「離れて」一避難地域における住民 ェクトの集い」を開催し した。

| 民の交流を深める演劇公演 | 心の繋がり」では、「大震災 | 満援ウシトラ旅団」の平田 | 義援ウシトラ旅団」の平田 |

課題を共有。最後に、全体

れぞれの団体の取り組みと

の必要性が確認された。

間でのさらなる連携や協力

各地で活動を20年以上行っている。

立した生活を取り戻せるよう、世界 ある人々が精神的にも経済的にも自

難民や避難民の人々を「自らの力を

ご挨拶

ひとご遠慮申し

上げます

JENが受賞

第22回読売国際協力賞

お願い申し上げますこれまでに賜りましたご厚情に感謝いたしますと共に、明年も変わらぬご厚誼のほどますと共に、明年も変わらぬご厚誼のほどがよいたしましたった。

で議論を交わし、支援団体

その中の「祭り・芸能による

会が行われ、テーマ毎にそ活動報告の後、情報交換

ある個人や団体を顕彰するもの。 国際協力活動の分野で顕著な功績が

紛争や災害で厳しい状況に

電 話(三三七〇)五四〇三(代表)東京都渋谷区代々木三ノ三ノ三

組みについて報告した。

(白石興二郎代表取締役社長)が

地域の活性化に向けた取り

同賞は、

読売新聞グループ本社

ーマで各団体が活動報告。 による心の繋がり」の4テ

歩みを振り返る河野氏中山身語正宗の戦後 み布教・教化活動を行ってび華厳宗の傘下においての身語正宗が戦前、真言宗及 河野乘慶氏が発表した。 身語正宗教学研究所所長の

るようになった」と振り返「どういう宗教かが問われ 人として独立することで いたと述べ、戦後、宗教法 い、設立に至っていているの徳丸ゆき子氏との出会 ることを報告した。 研究部会」を新たに設立す 実行委員会が「宗教と法律 研究部会からの報告の後、 この後、総会を開催。

郎代表取締役

ご挨拶とご遠慮申喪中につき年末年始

(0

上げ

ます

長

加納太霊

教

院

きたかを解説した。

各

評価され受賞

をする姿勢が めの手助け」 を立て直すた 発揮して生活

大阪府交野市郡津三丁

目四十七番十三号

営

界

教

話

(〇七二) 八九一一一一五八

に至った。

贈呈式で

歴史である」と説明

歴史である」と説明し、戦をいかに語ってきたのかの

った。この70年間は「教学

後どのように教義を整えて

を通じて、家庭と支援団体 のではなく、「おすそわけ」 親家庭に出向いて支援する 同クラブは、直接ひとり ことを強く示した。 振り返り、今後も活動を続けていく 木山事務局長はあいさつで、 に表彰状と副賞が贈られた(写真)。 社長からJENの木山啓子事務局 新宗連はJENの要請に応え、 活動を

1273 院 電話 〇一六四一二五—一七八六 北海道深川市音江町音江七五七番一号 長 話 加 理

<del>=</del> 074 Ā X

化論的観点から問題提起を 長 オ ウ

の現在―オウム真理教事件 シンポジウム「宗教と法 によりどのような法的問題 授が報告。 授、棚村政行早稲田大学教授と中島宏山形大学准教 が浮き彫りにされ、それら 前に片桐直人大阪大学准教 でオウム真理教事件 片桐氏は「問題

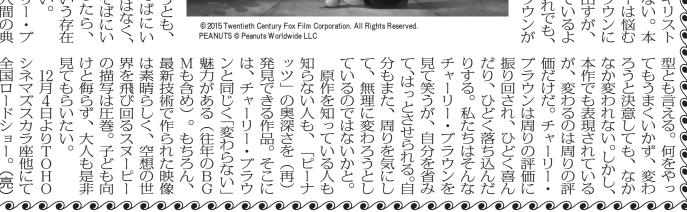
| 両論、改正がもたらした結りの決定」のテーマでオートにより惹起した宗教法人法改正の賛否とした宗教法人法改正の賛否とした宗教法人法改正の賛否とした。 討 紫光館で第6回公開学習会 日午後3時から、 を行った。 辺順一共同代表) 見区の龍谷大学深草学舎の 川浪剛、宮本要太郎、渡 支縁のまちネットワ

京都市伏 31

「変わらない」魅力 見え隠れするキリスト教的背景

> うにも見える。それでも、 チャ、 どこか面白がっているよ チャーリー・ブラウンが 対して助け舟を出すが、 リー・ブラウンに 本 だり、

空

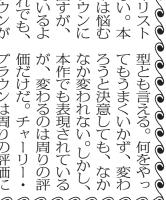




0

再検討を提示した。 や無差別大量殺人団体規制のテーマで破壊活動防止法 中島 氏はの

> を変えようと決意する。 想の世界を飛び回る。 エース」になりきり、 イロット「フライング・ に助けながら、ときにパ スヌーピーはそれをとき



しが進められている進 大学で「第71回宗教法学会」 大学名誉教授のスチュワ 宗教法学会(大石眞理事 東京都八王子市の創価は11月7日午前11時か ム事

成されている。新日本宗教教団に所属する研究所で構 2(平成4)年に発足し、 視点から再検討 第71回宗教法学会シンポジウ かを検討するとのシン 団体規制制度の再検

 $\Delta$ 

た。

なかうまくいかない。そるスヌーピーがキリスト とは、一見思えない。本るスヌーピーがキリスト 作でもスヌーピーは悩む

こで、彼は今までの自分

と題し、 を問い直した。フォーダムの成果から、日本人の起源 Aで読む日本人の形成史」 部長の篠田謙一氏は「DN 近年のDNA分析 ダム

堂で「第41回年次大会」を京・池上の日蓮宗宗務院講 月20日午前11時から、東教団付置研究所懇話会は 月20日午前11時から、 同懇話会は20 究員の小笠原弘道氏、中雅司氏、智山伝法院嘱託研究所研究祭務課長の港 究員の小笠原弘道氏、中山研究所研究祭務課長の浅山研究所研究祭務課長の浅山 |秀胤理事長) 「戦後70年と教団 として参加している。 (新宗連、 はオブザ の歩み」

ることなどを紹介した。 ならないように工夫してい 方支援活動であると説明し の関係をより強固にする後 また、無機質な支援と 地震救援などで支援・救援金を支出バノン避難・被災者救援やスマトラ している。

〇一六四一二五一一七九八

分もまた、周りを気にし

ているのではないかと。 て、無理に変わろうとし ピ

発見できる作品。そこに ッツ」の奥深さを(再) 知らない人も、 原作を知っている人も

魅力がある(往年のBG ンと同じく「変わらない は、チャーリー・ブラウ

PEANUTS @ Peanuts Worldwide LLC

曲 自由委員会が中心となり、 の観点から 新宗連は信教の が保證され

書などを提出している。特能性があれば、声明や意見「信教の自由」の侵害の可 とした閣僚の靖国神社「公 内閣総理大臣をはじめ 近年 あつた。 様な信教自由が 様な天下泰平が つまで續き、この

パネルディスカッ ルト問題につ 午後には、

が

う社会的課題が重なり、 日本で一日一食も食べられとかしたいという思いと、 処分してしまう現実をなん 賞味期限内に食べきれずに 「大阪子どもの貧困アクシ いるとい

るし、

な背景が見え隠れしていッツ」ではキリスト教的

る。ひょっとしてになく、

の描写は圧巻。子ども向

界を飛び回るスヌーピー は素晴らしく、空想の世 最新技術で作られた映像

Mも含め)。

。もちろん、

けと侮らず、

、大人も是非

12月4日よりTOHO

彐

る。寄り添うのではなく、スヌーピーはそばにい スヌーピーはそばにいいくら失敗しようとも、

思いのまま、自由に生き と例えられる。しかし、 ーは「小さなキリスト」 しばしばスヌーピ ラウンは私たち人間の典一方、チャーリー・ブ なのかもしれない。 「神」とはそういう存在 見てもらいたい。 全国口 シネマズスカラ座他にて

ご挨拶とご遠慮申喪中につき年末年始 10 上げます

本年三月に 大導師宮本丈靖が九十九歳で本年三月に 大導師宮本丈靖が九十九歳で

妙智會教団